

優秀賞



設計者

勝山太郎

大阪府建築士会、(株)日建設計 設計部門 設計部

教育施設

大阪府枚方市上野

関西外国語大学中宮キャンパス インターナショナル・コミュニケーション・センター

構造・階数

鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
地上4階、地下1階建て

敷地面積

4,910.77㎡

建築面積

2,925.95㎡

延床面積

9,809.69㎡

竣工

平成24年7月15日



A



B



C



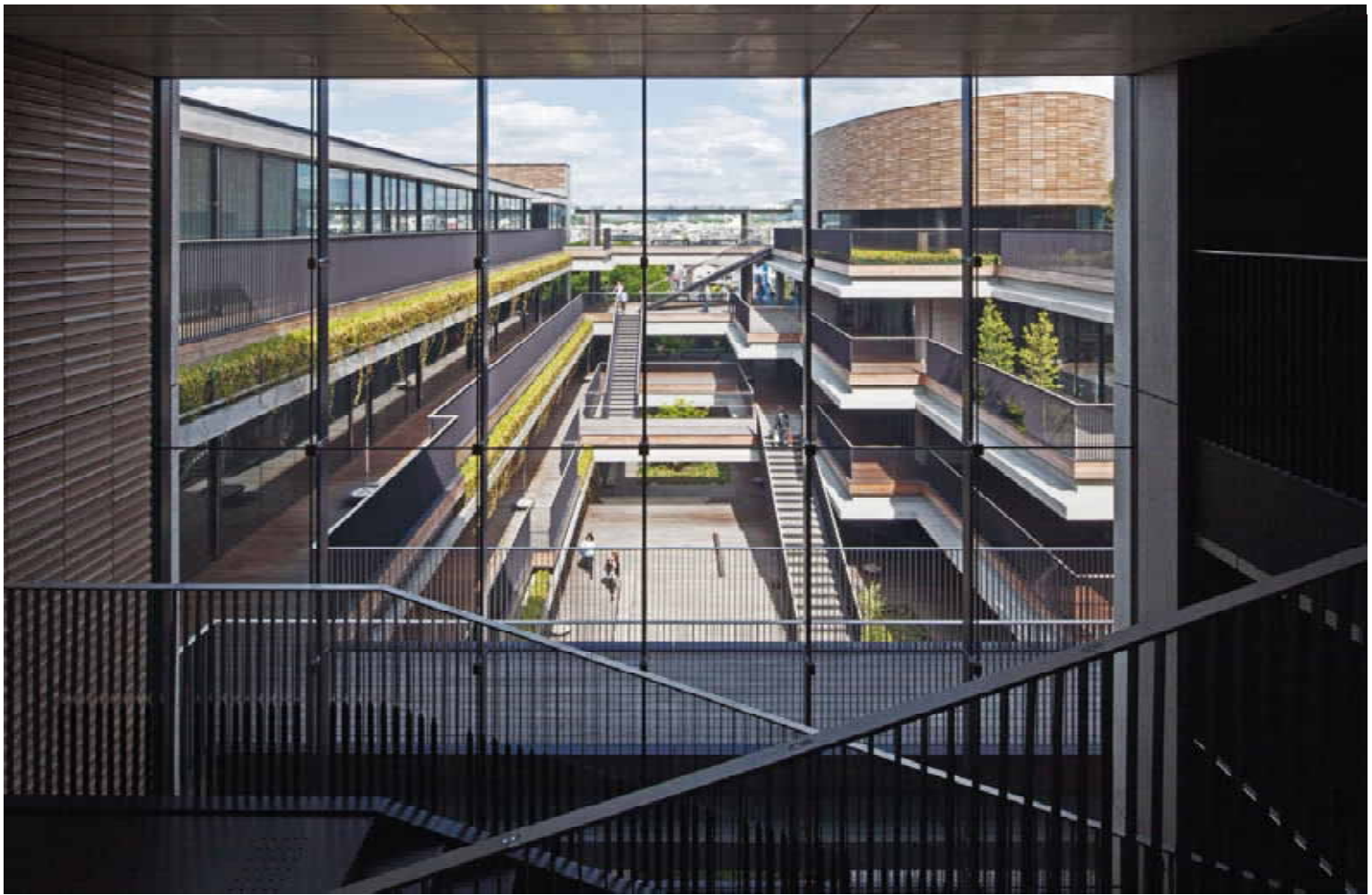
D

選評

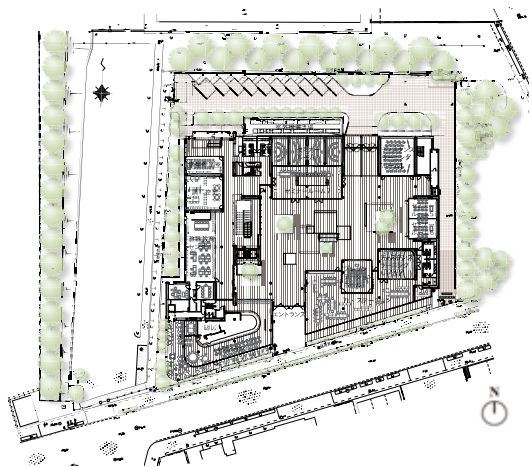
外国語、特に英語教育を鍵に地域コミュニティの人々と交流する新しい拠点として、既存のキャンパスと近隣市街地との間にある敷地に計画されたコミュニケーションセンターである。地上階の市街地に最も近い位置にレストラン・カフェを配し、右にはコミュニケーションスペースを配する。その間を抜けると中庭に繋がりが、4層吹き抜けた中庭は形状や階段の配置を変えながら、最上階へと繋がりが、上に昇るほど明るくオープンな雰囲気へと変化する。南側の街並みに対しては開放的な表情のファサードを持つが、中庭側にはどの面も屋外通路が廻り光と影の陰影が印象的で、その対比が心地良い。中庭に面しては各階の床面を木製、

天井面をGRCとし、2枚の面の重層として表現されており、その2つの面の垂直方向への重なりが軽快な表情をつくり出す。また、中庭の方向を見るとき、天井面を意識的に重量のない面として表現しており、光と影の心地良い外部空間が実現している。

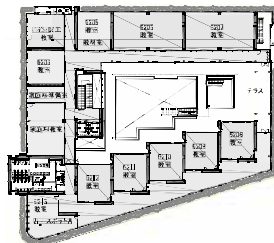
光の明るい中庭は実例に事欠かないが、影の空間が心地良い中庭は東南アジアの強い光の下ではよくあるものの、モンスーン地帯で光の弱いわが国では成功例が少ない。それには天井面の機能の整理と、素材や色彩の選択が重要な要素であり、そうした通常は軽視されがちな要素を誠実に検討された結果、中庭を含む魅力的な外部空間が実現できたと言えよう。（岸 和郎）



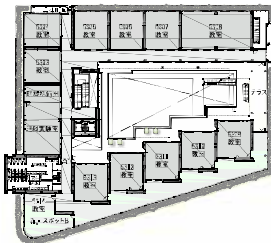
E



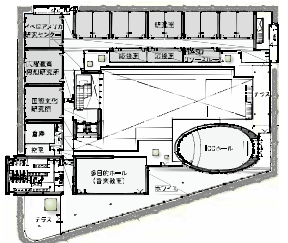
1階
平面図



2階



3階



4階

- A 南西側外観
- B 地域に開かれた交流スペース
- C 竹積層材のルーバーと椅子による竹に包まれたICCホール
- D 中庭に大きく開いた、昇りやすい緩勾配の階段室
- E 西側階段室から中庭をのぞむ
- F 1階共用部。GRC研ぎ出し仕上げの天井面が柔らかい光を映し込む

写真撮影A・C～F…古田雅文
写真撮影B…(株)内田洋行



F